



Avaya J100 Expansion Module for SIP の 使用方法

リリース 4.1.9
第 1 版
2025 年 7 月

Notices

© 2026 Avaya LLC. All Rights Reserved.

You may, at your own risk, assemble a MyDocs collection solely for your own internal business purposes, which constitutes a modification to the original published version of the publications. Avaya shall not be responsible for any modifications, additions, or deletions to the original published version of publications. You agree to defend, indemnify and hold harmless Avaya, Avaya's agents, servants and employees against all claims, lawsuits, demands and judgments arising out of, or in connection with, your modifications, additions or deletions to the publications.

A single topic or a collection of topics may come from multiple Avaya publications. All of the content in your collection is subject to the legal notices and disclaimers in the publications from which you assembled the collection. For information on licenses and license types, trademarks, and regulatory statements, see the original publications from which you copied the topics in your collection.

Except where expressly stated by Avaya otherwise, no use should be made of materials provided by Avaya on this site. All content on this site and the publications provided by Avaya including the selection, arrangement and design of the content is owned by Avaya and/or its licensors and is protected by copyright and other intellectual property laws including the sui generis rights relating to the protection of databases. Avaya owns all right, title and interest to any modifications, additions or deletions to the content in the Avaya publications.

注意

本ドキュメントに記載する情報を作成時点で完全かつ正確なものにするために十分な注意を払っておりますが、Avaya はいかなる誤りに対しても責任を一切負いません。Avaya は個人や団体に対し、事前の許可なく本ドキュメントに記載されている情報を変更・修正する権利を保有しています。

本ドキュメントにおける免責事項

「ドキュメント」とは、さまざまな媒体で公開している情報を意味します。なおこの情報には、製品のユーザーに通常提供している製品情報、サブスクリプションまたはサービス説明書、取扱説明書、および性能仕様書が含まれる場合があります。ドキュメントに販売用資料は含まれません。Avaya は、ドキュメントの初版に対するいかなる変更、追加、削除に対しても、それらが Avaya により、または明確に Avaya の代理として実行されたものでない限り、責任を負いません。エンドユーザーは、エンドユーザーの範囲内で本ドキュメントを修正、追加、削除したことによって生じる、またはそれに関連するいかなる申し立て、訴訟、請求、判決に対しても、Avaya、Avaya 代理人、従業員を免責することに同意するものとします。

リンクに関する免責事項

Avaya は、サイト内および Avaya が提供しているドキュメントにおいて参照されているリンク先の Web サイトのコンテンツや信頼性について一切責任を負いません。また、そのようなリンクで説明、提供された製品、サービス、情報の正確性は、必ずしも Avaya の保証の対象になるものではありません。Avaya は、これらのリンクが常に機能することを保証しておらず、リンク先のページの可用性を管理することはできません。

保証

Avaya は、Avaya のハードウェアおよびソフトウェアに対し、限定保証を提供しています。お手持ちの Avaya の契約書を参照して限定保証の条項をご確認ください。また、Avaya の標準保証規約、およびこの製品の保証期間中に Avaya カスタマーおよび関係者が利用可能なサポート情報は、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com/helpcenter/getGenericDetails?detailId=C20091120112456651010>) の「[Warranty & Product Lifecycle]」リンク内)、または Avaya が指定する後継サイトに掲載されています。米国およびカナダ以外の Avaya 認定チャネルパートナーから本製品をご購入された場合は、保証の提供元は Avaya ではなく、この Avaya チャネルパートナーとなることに注意してください。

「[ホステッドサービス]」とは、Avaya または正規の Avaya チャネルパートナー (いずれか該当するもの) のいずれかからお客様が入手する Avaya ホステッドサービスサブスクリプションであって、該当のホステッドサービスに関するホステッド SAS またはその他のサービス説明書に詳述されるものことです。ホステッドサービスサブスクリプションを購入する場合、お客様には前述の限定保証は適用されない場合がありますが、当該ホステッドサービスに付随するサポートサービスは、該当ホステッドサービスのサービス説明ドキュメントの詳述に沿って受けることができます。詳しくは、Avaya または Avaya チャネルパートナー (いずれか該当するもの) にお問い合わせください。

ホストサービス

以下はお客様が Avaya または Avaya チャネルパートナー (該当する場合) よりホステッドサービスサブスクリプションをご購入した場合にのみ適用されます。ホステッドサービス利用規約は Avaya Web サイト [HTTPS://SUPPORT.AVAYA.COM/LICENSEINFO](https://support.avaya.com/licenseinfo) の「Avaya Terms of Use for Hosted Services」(Avaya ホステッドサービス利用規約) または Avaya の指定する後継サイトに記載されており、Avaya ホステッドサービスにアクセスする、またはこれを利用するすべてのユーザーに適用されます。ホステッドサービスにアクセスする、またはこれを利用する、あるいは他者にアクセスまたは利用を許可することで、お客様は、お客様ご自身ならびにお客様が代理となってこれらの行為を行う団体 (以下、状況に応じて適宜「お客様」および「エンドユーザー」) を代表し、利用規約に同意するものとみなされます。お客様が会社またはその他法人を代表して利用規約に同意した場合、お客様は当該団体を利用規約に従わせる権限を有することを表明したことになります。そのような権限をお持ちでない場合、または利用規約に同意することを希望しない場合、お客様はホステッドサービスにアクセスしたり当該サービスを利用したりすることはできず、他者にホステッドサービスへのアクセスまたは利用を許可することもできません。

ライセンス

グローバルソフトウェアライセンス条件 (以下「ソフトウェアライセンス条件」) は、Web サイト (<https://www.avaya.com/en/legal-license-terms/>) または Avaya が指定する後継サイトでご覧いただけます。本ソフトウェアライセンス条件は、本ソフトウェアおよび/または関連ドキュメントをインストール、ダウンロード、および/または使用するすべての人に適用されます。本ソフトウェアをインストール、ダウンロード、もしくは使用すること、または他者にその権限を与えることで、エンドユーザーは、本ソフトウェアライセンス条件がエンドユーザーと Avaya との間に拘束力のある契約を形成することに同意するものとします。エンドユーザーが会社またはその他の法人を代表して本ソフトウェアライセンス条件を受諾する場合、エンドユーザーは、当該事業体を本ソフトウェアライセンス条件を遵守させる権限を自身が有していることを表明するものとします。

著作権

別段に明記される場合を除き、Avaya が提供する本サイトのコンテンツ、ドキュメント、ソフトウェア、ホステッドサービス、ハードウェアを使用することはできません。Avaya が提供する本サイトのコンテンツ、ドキュメント、ホステッドサービス、製品 (コンテンツの選択、配置、デザインを含む) の所有権は Avaya またはそのライセンス供与者が保有しており、著作権法や他の知的財産権法 (データベース保護に関する独自の権利を含む) によって保護されています。Avaya による明示的な許可がない限り、内容の全部または一部 (コードやソフトウェアを含む) を、手法を問わず、修正、複写、複製、再版、アップロード、投稿、転送、配布することはできません。Avaya の書面による明示的な同意なく、これらを複製、転送、配布、保存、使用することは、適用法のもとで刑事上および民事上の犯罪になる場合があります。

仮想化

以下の規定は、製品が仮想マシンに配置される場合に適用されます。各製品には独自の注文コードとライセンスタイプがあります。別段の定めがある場合を除き、製品の各インスタンスについてはそれぞれライセンスを取得し、発注する必要があります。例えば、エンドユーザーカスタマーまたは Avaya チャネルパートナーが同じ種類の製品のインスタンスを 2 つインストールする場合、その種類の製品を 2 つ注文する必要があります。

サードパーティコンポーネント

次の規定は、H.264 (AVC) コーデックが製品と共に配布される場合のみ適用されます。本製品は、AVC 特許ポートフォリオライセンスにもとづき、消費者の個人的利用またはその他報酬の受領が生じない用途のために、(i) AVC 標準に準拠してビデオをエンコードすること (以下、「AVC ビデオ」)、および/または (ii) 消費者が個人的行為としてエンコードした AVC ビデオまたは AVC ビデオ提供のライセンスを受けたビデオプロバイダから入手した AVC ビデオをデコードすることを目的として、ライセンス許諾されるものです。いかなるライセンスも供与または黙認されません。詳細については、MPEG LA, L.L.C.: [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com) を参照してください。

サービスプロバイダ

コーデックについて、Avaya のチャネルパートナーが H.264 または H.265 コーデックを使用する製品をホスティングしている場合、当該パートナーは、自己がすべての関連手数料およびロイヤリティに責任を負うことを認識し、同意します。H.264 (AVC) コーデックは、AVC 特許ポートフォリオライセンスにもとづき、消費者の個人的利用またはその他報酬の受領が生じない用途のために、(i) AVC 標準に準拠してビデオをエンコードすること (以下、「AVC ビデオ」)、および/または (ii) 消費者が個人的行為としてエンコードした AVC ビデオまたは AVC ビデオ提供のライセンスを受けたビデオプロバイダから入手した AVC ビデオをデコードすることを目的として、ライセンス許諾されるものです。いかなるライセンスも供与または黙認されません。H.264 (AVC) codec および H.265 (HEVC) codec の詳細については、MPEG LA, L.L.C. から入手することができます。 [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com) を参照してください。

法令遵守

お客様は、Avaya 製品が使用される国または法域で適用される法律および規制 (通話記録、データプライバシー、知的財産、営業秘密、不正、演奏権に関する法律および規制を含みますが、これらに限定されません) を遵守する自己の責任を認識し、これに同意します。

不正利用を防止するために

「不正使用」とは、お客様の電話通信システムへの利用に際して正規の認可を受けていない当事者 (例えば、貴社の従業員、エージェント、下請け業者、または貴社の代理人以外) が通信システムを不

正に使用することを意味します。お客様のシステムに関連した不正利用のリスクがあるということ、さらに不正利用が行われた場合、お客様の通信サービスに対して相当額の追加請求が生じる結果になりますのでご注意ください。

Avaya 通信不正利用防止ライン

通信不正利用の被害を受けている疑いがあり、技術的な支援またはサポートが必要な場合は、Avaya の営業担当者にお問い合わせください。

セキュリティ脆弱性

Avaya のセキュリティサポートポリシーに関する情報は、<https://support.avaya.com/security> の「Security Policies and Support」セクションに記載されています。

Avaya 製品の疑わしいセキュリティ脆弱性は、Avaya 製品セキュリティサポートフロー (<https://support.avaya.com/css/P8/documents/100161515>) に従って処理されます。

ドキュメントのダウンロード

ドキュメントの最新版については、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) または Avaya が指定する後継サイトをご覧ください。

Avaya サポートの連絡先

製品またはクラウドサービスの案内や記事を確認したり、Avaya 製品またはクラウドサービスに関する問題を報告したりするには、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) を参照してください。サポートの電話番号およびお問い合わせ先については、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) または Avaya が指定する後継サイトにアクセスし、ページの下までスクロールして、「Avaya サポートに連絡」を選択してください。

Note

Using a cell, mobile, or GSM phone, or a two-way radio in close proximity to an Avaya IP telephone might cause interference.

Regulatory Statements

Australia Statements

Handset Magnets Statement :



危険

The handset receiver contains magnetic devices that can attract small metallic objects. Care should be taken to avoid personal injury.

Industry Canada (IC) Statements

RSS Standards Statement

This device complies with Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause interference, and
2. This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

1. L'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
2. L'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Radio Transmitter Statement

Under Industry Canada regulations, this radio transmitter may only operate using an antenna of a type and maximum (or lesser) gain approved for the transmitter by Industry Canada. To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so chosen that the equivalent isotropically radiated power (EIRP) is not more than that necessary for successful communication.

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Radiation Exposure Statement

This equipment complies with FCC & IC RSS102 radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance 20cm between the radiator & your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements ISEDétablies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20 cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps.

This product meets the applicable Innovation, Science and Economic Development Canada technical specifications.

Japan Statements

Class B Statement

This is a Class B product based on the standard of the VCCI Council. If this is used near a radio or television receiver in a domestic environment, it may cause radio interference. Install and use the equipment according to the instruction manual.

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

Denan Power Cord Statement



危険

Please be careful of the following while installing the equipment:

- Please only use the connecting cables, power cord, and AC adapters shipped with the equipment or specified by Avaya to be used with the equipment. If you use any other equipment, it may cause failures, malfunctioning, or fire.
- Power cords shipped with this equipment must not be used with any other equipment. In case the above guidelines are not followed, it may lead to death or severe injury.



警告

本製品を安全にご使用頂くため、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブル、電源コード、ACアダプタなどの部品は、必ず製品に同梱されております添付品または指定品をご使用ください。添付品指定品以外の部品をご使用になると故障や動作不良、火災の原因となることがあります。
- 同梱されております付属の電源コードを他の機器には使用しないでください。上記注意事項を守らないと、死亡や大怪我など人身事故の原因となることがあります。

México Statement

The operation of this equipment is subject to the following two conditions:

1. It is possible that this equipment or device may not cause harmful interference, and
2. This equipment or device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation.

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
2. Este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Brazil Statement

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados

Power over Ethernet (PoE) Statement

This equipment must be connected to PoE networks without routing to the outside plant.

Taiwan Low Power Radio Waves Radiated Devices Statement

取得審驗證明之低功率射頻器材，非經核准，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻器材之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前述合法通信，指依電信管理法規定作業之無線電通信。低功率射頻器材須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

U.S. Federal Communications Commission (FCC) Statements

Compliance Statement

The changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

To comply with the FCC RF exposure compliance requirements, this device and its antenna must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference, and
2. This device must accept any interference received, including interferences that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designated to provide reasonable protection against harmful interferences in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interferences to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Radiation Exposure Statement

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 8 in or 20 cm between the radiator and your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

ENERGY STAR® compliance statement



As an ENERGY STAR partner, Avaya LLC has determined that this product meets the ENERGY STAR guidelines for energy efficiency. Information on the ENERGY STAR program can be found at www.energystar.gov. ENERGY STAR and the ENERGY STAR mark are registered trademarks owned by the U.S. Environmental Protection Agency.

EU Countries

This device when installed complies with the essential requirements and other relevant provisions of the EMC Directive 2014/30/EU, Safety LV Directive 2014/35/EU, and Radio Equipment Directive 2014/53/EU. A copy of the Declaration may be obtained from <https://support.avaya.com> or Avaya LLC, 350 Mt. Kemble Avenue, Morristown, NJ 07960 USA.

WiFi transmitter

- Frequencies for 2412-2472 MHz, transmit power: < 20 dBm
- Frequencies for 5180-5240 MHz, transmit power: < 20 dBm

BT transmitter

- Frequencies for 2402-2480 MHz, transmit power: < 6.0 dBm

General Safety Warning

- Use only the Avaya approved Limited Power Source power supplies specified for this product.
- Ensure that you:
 - Do not operate the device near water.
 - Do not use the device during a lightning storm.
 - Do not report a gas leak while in the vicinity of the leak.
 - For Accessory Power Supply in Avaya J100 シリーズ IP 電話機– Use Only Limited Power Supply Pihong Technology Co. Ltd. Model: PSAC12R-050, Output: 5VDC, 2.4A.

Trademarks

本サイトおよび Avaya 提供のドキュメント、ホステッドサービス、製品に表示されている商標、ロゴ、サービスマーク（以下、「マーク」）は、Avaya およびその関連会社、ライセンサー、サプライヤ、もしくはその他サードパーティの登録/未登録商標です。ユーザーは、Avaya またはマークを所有している可能性があるサードパーティの書面による事前の許可なく、これらのマークを使用することはできません。本サイト、ドキュメント、ホステッドサービス、および製品には、Avaya または該当するサードパーティの明確な書面による同意なく、マークのライセンスまたは権利を黙示、禁反言などにより付与する内容は一切含まれないものとします。

Avaya は、Avaya LLC の登録商標です。

Avaya 以外のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Avaya LLC is under license.

Device Usage Consent

By using the Avaya device, you agree that Avaya, from time to time, may collect network and device data from your device and may use such data in order to validate your eligibility to use the device.

目次

第 1 章: はじめに	6
目的.....	6
変更履歴.....	6
第 2 章: 概要	7
Avaya J100 拡張モジュールの概要.....	7
物理レイアウト.....	9
Avaya J100 拡張モジュール アイコン.....	10
Avaya J100 拡張モジュール アップグレード通知.....	10
拡張モジュールラインと CCMS モードのアイコン.....	10
第 3 章: 通話操作	12
電話をかける.....	12
通話に応答する.....	12
通話中に別の通話に応答する.....	13
機能にアクセスする.....	13
アプリケーション.....	13
アプリケーションの概要.....	13
アプリケーションにアクセスする.....	14
第 4 章: 設定	15
ディスプレイをカスタマイズする.....	15
表示モード.....	15
JEM24 ディスプレイに固有の背景画像を設定する.....	16
カスタムスクリーンセーバー画像を設定する.....	17
拡張モジュールの明るさを調整する.....	18
テキストサイズの設定.....	18
カスタマイズキー.....	19
ラベル付きキーを追加する.....	19
キーのラベルを変更する.....	19
キーを移動する.....	20
キーを削除する.....	20
カスタマイズキーをデフォルトに戻す.....	20
第 5 章: トラブルシューティング	22
拡張モジュールの詳細を表示する.....	22
管理者メニューから拡張モジュールの詳細を表示する.....	22
メインメニューから拡張モジュールの詳細を表示する.....	22
よくあるトラブルシューティングの状況.....	23
第 6 章: リソース	24
Avaya サポート Web サイトでドキュメントを検索.....	24
Avaya ドキュメントセンターのナビゲーション.....	24
Avaya Mentor ビデオを表示する.....	26
サポート.....	26

第 1 章: はじめに

目的

このドキュメントはエンドユーザーを対象に、SIP ファームウェア対応の Avaya J100 拡張モジュールで利用可能な機能の概要を提供します。また、Avaya J100 拡張モジュール機能の設定手順について説明しています。

変更履歴

発行	日付	変更内容
リリース 4.0.14、第 1 版	2022 年 10 月	「設定」の章を更新しました。
リリース 4.1.2、 第 1 版	2023 年 10 月	「表示モード」を追加しました

第 2 章: 概要

Avaya J100 拡張モジュールの概要

Avaya J100 拡張モジュール (JEM24) では、Avaya J169/J179 IP 電話機 および Avaya J189 IP 電話機 でコールアピランスと機能ボタンの数を拡張できます。コールアピランスと機能は Avaya J100 拡張モジュール と電話の対応するラインに表示されます。

最大 3 台の拡張モジュールを Avaya J169/J179 IP 電話機 に、2 台の拡張モジュールを Avaya J189 IP 電話機 に接続できます。Avaya J189 IP 電話機 には内蔵モジュールとして動作するセカンダリ画面もあります。拡張モジュールが電話に接続されている場合、電話の表示プロパティを継承します。

次の表に、電話機に接続されているボタンモジュールの数に対応する利用可能なライン数を示します。

拡張モジュール	通話ライン/機能/アプリケーション	ページ間で切り替える
1	72 (各ページ 24)	はい
2	24	いいえ
3	24	いいえ

次のシナリオでは、JEM24 のトグルボタンは使用できません。

- 複数の JEM24 を電話に接続する場合。
- 複数の JEM24 を Avaya J189 IP 電話機 に接続する場合。

次の表に J100 電話モデルと JEM24 で使用可能な物理機能キーの数を示します。

電話モデル	電話の機能キー	ビルトイン拡張モジュールの機能キー	JEM24 拡張モジュールの機能キー
J129	3	NA	JEM24 をサポートしない
J139	4	NA	JEM24 をサポートしない
J159	4	6	JEM24 をサポートしない
J169	8	NA	24
J179	8	NA	24
J189	10	6	24

次の表に J100 電話モデルと JEM24 で使用可能な機能キーの数を示します。

電話モデル	電話画面でアクセス可能な機能キー	JEM24 トグルボタンを使用してビルトイン拡張モジュールでアクセス可能な機能キー	1 台の拡張モジュールからのみアクセスできる機能キー	複数の JEM24 がある場合に 1 台目の JEM24 でアクセス可能な機能キー	2 台目の JEM24 でアクセス可能な機能キー	3 台目の JEM24 でアクセス可能な機能キー
J129	NA	NA	NA	NA	NA	NA
J139	96	NA	NA	NA	NA	NA
J159	96	25-48	NA	NA	NA	NA
J169	96	NA	25-96	25-48	49-72	73-96
J179	96	NA	25-96	25-48	49-72	73-96
J189	96	25-48	49-72	49-72	73-96	NA

Avaya J100 拡張モジュールでは 2 つのスタンド位置と壁掛け位置で電話と共に配置できません。

*** 注**

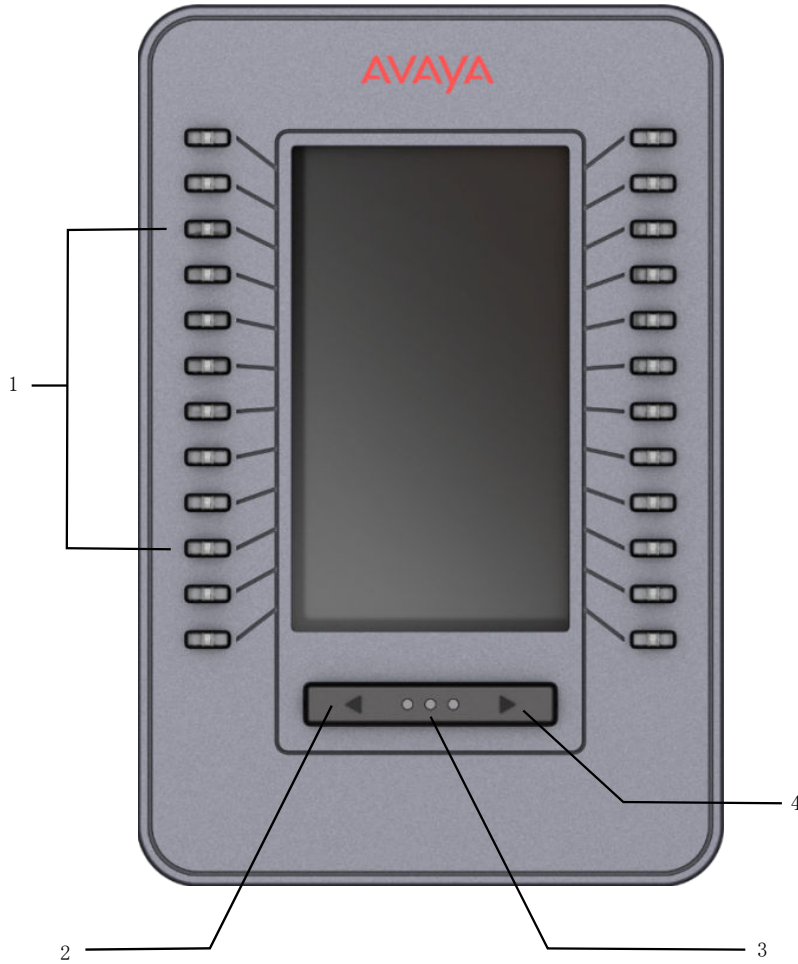
Avaya J100 拡張モジュールの壁掛けブラケットは、壁掛けキットと共に別途注文する必要があります。Avaya J100 拡張モジュールの壁掛け手順については、『*Installing and Administering Avaya J100 Series IP Phones (Avaya J100 シリーズ IP 電話機のインストールと管理)*』を参照してください。

PoE を使用して電話の電源を入れる場合、拡張モジュールは 1 台しか接続できません。複数の拡張モジュールを接続するには、電源装置を使用します。

! 重要

Avaya J100 拡張モジュールではホットプラグはサポートされていません。電話機を電源に接続する前にすべての Avaya J100 拡張モジュールを電話機に接続します。

物理レイアウト



番号	名前	説明
1	LED 内蔵の回線ボタン	<p>通話の受信、発信、その他の内線番号への応答、機能へのアクセスに使用する回線ボタン。</p> <p>回線ボタンに内蔵された LED は、電話の LED と同期しています。電話のバックライトをオフにすると、拡張モジュールのラインボタン LED が消灯します。</p> <p>回線ボタンの LED は次のように表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑色のランプは着信または有効な機能を示します。 • 赤のランプは、回線が使用中または機能が無効であることを示します。
2、4	左右のページボタン	別のアクティブページに切り替えるために使用するボタン。
3	アクティブページの LED	<p>3 つの LED がどのアクティブページが表示されているかを示します。</p> <p>* 注</p> <p>Avaya J100 拡張モジュール が 1 つのみ接続されている場合は表示が変わります。複数の拡張モジュールが接続されている場合は、1 番目の LED が常時点灯します。</p>

Avaya J100 拡張モジュール アイコン

Avaya J100 拡張モジュール では、モジュールが接続されている電話機モデルのアイコンが使用されます。

*** 注**

Avaya J169 IP 電話機 に接続された Avaya J100 拡張モジュール のアイコンはグレースケールで表示されます。

Avaya J100 拡張モジュール アイコンの詳細については、ご使用の電話機モデルのユーザーガイドの関連セクションを参照してください。

Avaya J100 拡張モジュール アップグレード通知

Avaya J100 拡張モジュール ファームウェアのアップグレードプロセスは、拡張モジュールの [アップグレード] 通知表示によって示されます。

更新されたファームウェアをダウンロードしたら、Avaya J100 拡張モジュール に次の通知が表示されます。このデバイスは 3 分間アップデートを実行します。

[今すぐ実行する] または [今夜実行する] オプションの対応するラインボタンを押して、適切なアップグレード時間を選択します。

*** 注**

[アップグレード] 通知が表示されると、拡張モジュールのスクリーンセーバーが解除されます。バックライトは消灯しません。

拡張モジュールラインと CCMS モードのアイコン

IP Office 環境では、Avaya J169/J179 IP 電話機 は拡張機能セットを提供する CCMS over SIP モードを使用します。

Avaya Aura® 環境では、ラインは行ごとに番号が付けられます。右上のラインから左上のラインにスクロールすると、下の行に切り替わります。

CCMS モードでは、ラインは列ごとに番号が付けられます。まず、左の列の上から下にスクロールすると、右の列の上に切り替えられます。

! 重要

CCMS モードではアイコンはサポートされていません。テキストラベルはラインの先頭から始まります。

第 3 章: 通話操作

電話をかける

このタスクについて

この手順で拡張モジュールラインを使用して通話を発信します。発信通話は、発信通話アイコンで示されます。ラインボタンに組み込まれている LED は、電話機の LED (緑色と赤色の LED が組み合わされたランプ) と同期されます。

手順

1. ハンドセットを持ち上げ、電話する内線番号に対応するラインボタンを押します。
2. (オプション) ハンドセットを持ち上げずにラインボタンを押すと、スピーカーフォンを使用して電話をかけることができます。
3. 通話を終了するときは [切断] を押します。

通話に応答する

このタスクについて

この手順で、拡張モジュールのラインボタンを使用して着信に応答します。着信は着信アイコンと点滅する緑の LED で示されます。

手順

以下のいずれかを行います。

- Avaya J100 拡張モジュールの点滅するラインボタンを押してデフォルトのオーディオデバイスをアクティブ化したり通話に応答したりする。
- 受話器を取り上げます。

通話に応答すると、着信アイコンが変わり、電話機のスクリーンに通話が表示されます。

* 注

電話機がロックされている場合、Avaya J100 拡張モジュール ラインは使用できません。ただし、拡張モジュールのラインボタンを使用して着信に応答できます。

通話中に別の通話に应答する

このタスクについて

この手順で、拡張モジュールのラインボタンを使用して通話中に別の着信に应答します。

手順

Avaya J100 拡張モジュール の点滅するラインボタンを押してデフォルトのオーディオデバイスをアクティブ化したり通話に应答したりします。

最初の通話が保留になり、2 番目の通話に接続されます。

機能にアクセスする

このタスクについて

システム管理者が不在転送、コールピックアップ、自動コールバックなどの機能をアクティブにしている場合は、機能ラベルを使用して Avaya J100 拡張モジュール で有効または無効にできます。機能ラベルの一部は、システム管理者が事前に設定している場合があります。

手順

Avaya J100 拡張モジュール で、有効または無効にする機能の横にあるラベル付きのラインボタンを押します。

機能の有効または無効に応じて、LED が緑または赤に点滅します。

アプリケーション


アプリケーションの概要

Avaya J100 拡張モジュール では、対応するラベル付きのボタンを押すことで、連絡先、履歴、カレンダーなどのアプリケーションにすばやくアクセスできます。


次の表に、拡張モジュールで使用可能なアプリケーション、そのアイコンと説明の例をいくつか示します。

* 注

拡張モジュールのアプリケーションアイコンは、SIP ファームウェアでのみ利用できます。

アプリケーション名	アイコン	説明
スクリーンセーバーのアクティブ化		電話機と拡張モジュールで選択されたスクリーンセーバーを直ちに表示します。

次のページに続く...

アプリケーション名	アイコン	説明
カレンダー		拡張モジュールから Microsoft® Exchange Server のカレンダーにアクセスします。
連絡先		拡張モジュールから [連絡先] リストにアクセスします。
履歴		拡張モジュールから [履歴] リストにアクセスします。
ロック		電話機と拡張モジュールの画面を直ちにロックします。
ログアウト		[ログアウト] 確認ウィンドウが開きます。
マイプレゼンス		[プレゼンス]ウィンドウが開き、自動または手動で自分のステータスを管理できます。

アプリケーションにアクセスする

手順

Avaya J100 拡張モジュール で、アクセスするアプリケーションの横にあるラベル付きラインボタンを押します。

Avaya J100 拡張モジュール はアプリケーション画面を表示するか、選択したアプリケーションを直ちにアクティブにします。

第 4 章: 設定

ディスプレイをカスタマイズする

Avaya J100 拡張モジュール (JEM24) の表示モードで、カスタマイズスクリーンセーバーと背景画像を設定できます。管理者がこれらの画像を設定するアクセス権限を付与します。

次を使用して、JEM24 の背景画像とスクリーンセーバー画像を設定できます。

- 事前定義された画像
- カスタマイズされた画像
- プライマリディスプレイ画像と同じ画像

ユーザーと管理者が JEM24 のスクリーンセーバーと背景画像を設定していない場合、電話ではデフォルトの Avaya デバイス画像が使用されます。

管理者が必要な設定を行っている場合は、プライマリディスプレイと JEM24 モジュールに同じ背景画像とスクリーンセーバー画像を設定できます。JEM24 ディスプレイには、プライマリディスプレイに加えられた変更が反映されます。プライマリディスプレイのカスタム画像を選択すると、JEM24 にはデフォルトの Avaya デバイス画像が表示されます。

電話の [設定] メニューを使用して、次の Avaya J100 拡張モジュール 機能を設定します。

- 背景画像
- クリーンセーバー
- フォントサイズ
- 明るさ
- 表示モード

* 注

Avaya J100 拡張モジュール では、ディスプレイのコントラストの調整はサポートされていません。

Avaya J100 拡張モジュール では、1 行あたりの文字数が JBM24 ボタンモジュール よりも少なく表示されます。必要に応じて、電話の [設定] メニューでフォントサイズを縮小します。

表示モード

表示モード機能を使用すると、表示とフォントの色を選択して、電話表示をカスタマイズできます。電話の表示モードを [ダーク] または [ライト] に変更できます。表示モードを [ライト] に設定すると、フォントの色は黒になります。表示モードを [ダーク] に設定すると、フォントの色は白になります。

表示モードを変更すると、次を含むほとんどのスキンに影響します。

- ソフトキー
- 上部ラインの区切り
- カレンダーコンポーネント
- 定義済みの背景とスクリーンセーバー
- ラインの強調表示
- ダイアログ、トースト、スクロールバーのスキン
- 進行状況バー

メイン画面の表示モードを変更すると、セカンダリ画面と接続されている拡張モジュールの表示モードが変更されます。

電話表示モードを変更する

このタスクについて

表示モード機能を使用すると、電話表示モードを [ダーク] または [ライト] に変更できます。表示モードを [ライト] に設定すると、フォントの色は黒になります。表示モードを [ダーク] に設定すると、フォントの色は白になります。

前提条件

表示モードを変更する設定が表示されない場合は、電話管理者にお問い合わせください。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [表示モード] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [切り替え] を押すと、[ライト] と [ダーク] が切り替わります。
6. [保存] を押します。

関連リンク

[Modifying your Display Mode \(ビデオ\)](#)

JEM24 ディスプレイに固有の背景画像を設定する

このタスクについて

この手順を使用して、Avaya J100 拡張モジュール (JEM24) のカスタム背景画像を設定します。

JEM24 ディスプレイの組み込み画像またはカスタム画像を設定できます。管理者に連絡して、カスタム背景画像を電話にアップロードするように依頼します。

電話メニューを使用して JEM24 の背景画像を変更できます。

*** 注**

電話でカスタム画像がダウンロード中の場合は、背景画像は設定できません。ダウンロード中、モジュールへの画像のダウンロードと表示されます。

前提条件

管理者が背景画像を設定するためのアクセス権限を付与にしていることを確認します。

手順

1. 電話機の [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [背景] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [モジュールディスプレイ] を選択します。

Avaya J100 拡張モジュールの背景画像を設定できます。画像リストから組み込み画像またはカスタム画像を使用できます。

6. 新しい画像までスクロールします。
7. (オプション) 画像をプレビューするには、[プレビュー] を押してから、[戻る] を押します。
8. [選択] を押します。
9. [保存] を押します。

カスタムスクリーンセーバー画像を設定する**このタスクについて**

この手順を使用して、Avaya J100 拡張モジュール (JEM24) のカスタムスクリーンセーバー画像を設定します。

JEM24 ディスプレイの組み込み画像またはカスタム画像を設定できます。管理者に連絡して、カスタムスクリーンセーバー画像を電話にアップロードするように依頼します。

電話メニューを使用して JEM24 のスクリーンセーバー画像を変更できます。

*** 注**

電話でカスタム画像がダウンロード中の場合は、スクリーンセーバー画像は設定できません。ダウンロード中、モジュールへの画像のダウンロードと表示されます。

前提条件

管理者がスクリーンセーバー画像を設定するためのアクセス権限を付与していることを確認します。

手順

1. 電話機の [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [スクリーンセーバー] までスクロールして、[選択] を押します。

5. [モジュールディスプレイ] を選択します。
Avaya J100 拡張モジュールのスクリーンセーバーを設定できます。画像リストから組み込み画像またはカスタム画像を使用できます。
6. 新しい画像までスクロールします。
7. (オプション) 画像をプレビューするには、[プレビュー] を押してから、[戻る] を押します。
8. [選択] を押します。
9. [保存] を押します。

拡張モジュールの明るさを調整する

手順

1. 電話機の [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [明るさ] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [モジュール] までスクロールします。
6. (オプション) 複数の Avaya J100 拡張モジュールが接続されている場合は、モジュール番号でモジュールを選択します。
7. 以下のいずれかを押します。
 - [右] 矢印キー：明るさを増加させます。
 - [左] 矢印キー：明るさを減少させます。

テキストサイズの設定

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [テキストサイズ] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [プライマリディスプレイ] までスクロールして、[選択] を押します。
6. 以下のいずれかを押します。
 - [右] 矢印キー：フォントのサイズを大きくします。
 - [左] 矢印キー：フォントのサイズを小さくします。
7. (オプション) デフォルトのフォントサイズに戻すには、[デフォルト] を押します。
8. [保存] を押します。

カスタマイズキー

ラベル付きキーを追加する

このタスクについて

この手順を使用して、連絡先、機能、アプリケーションにすばやくアクセスできるようにラベル付きキーを空のラインに追加します。

前提条件

連絡先のラベルが付いたキーを追加する前に、[連絡先] リストが空になっていないことを確認します。お使いの電話のモデルのユーザーガイドの「新しい連絡先を追加する」セクションを参照してください。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [電話キーのカスタマイズ] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [カスタマイズキー] までスクロールして、[選択] を押します。
6. 空のラインを選択するには、[ナビゲーション] キーを使用します。
7. [追加] を押し、次のいずれかを選択します。
 - [登録]
 - [機能]
 - [アプリ]
8. 新しい画面で、追加する連絡先、機能、またはアプリケーションまでスクロールし、[選択] を押します。

キーのラベルを変更する

このタスクについて

Avaya J100 拡張モジュール ラベルは、システム管理者が事前に設定します。これらのラベルは必要に応じて変更できます。

最初の 24 キーを使用して、電話機の表示スクリーンをカスタマイズできます。キー 25 ~ 48 ではアクティブページ 1 のボタンモジュールをカスタマイズできます。キー 49 ~ 72 ではアクティブページ 2 をカスタマイズできます。キー 73 ~ 96 ではアクティブページ 3 をカスタマイズできます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [電話キーのカスタマイズ] までスクロールして、[選択] を押します。

5. [カスタマイズキー] までスクロールして、[選択] を押します。
6. 必要なボタンキーを選択するには、[ナビゲーション] キーを使用します。
[ナビゲーション] キーを使用して下にスクロールすると、拡張モジュール表示にキーエリアが強調表示されます。
7. キーのラベルを変更するには、次の操作を行います。
 - a. [ラベル変更] を押します。
 - b. ラベルの名前を入力し、[保存] を押します。

キーを移動する

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [電話キーのカスタマイズ] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [カスタマイズキー] までスクロールして、[選択] を押します。
6. 移動するボタンキーを選択するには、[ナビゲーション] を使用します。
7. 選択したキーを移動するには、次の操作を行います。
 - a. [移動] を押します。
 - b. [ナビゲーション] キーを使用して、選択したラインキーを移動します。
 - c. 新しい場所が空の場合は、[選択] を押します。
 - d. 新しい場所にすでにキーが割り当てられている場合は、[切替] を押します。

キーを削除する

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [電話キーのカスタマイズ] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [カスタマイズキー] までスクロールして、[選択] を押します。
6. 削除するボタンキーまでスクロールして、[削除] を押します。
7. 確認ウィンドウで、[削除] を押します。

カスタマイズキーをデフォルトに戻す

このタスクについて

この手順で、カスタマイズキーを管理者設定にリストアします。電話内の連絡先、機能、アプリのお気に入りなど、すべてのお気に入りがクリアされ、管理者設定が適用されます。この手順は、カスタマイズされたラベルには影響しません。

前提条件

管理者がカスタマイズモードを [フル] に設定していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [電話キーのカスタマイズ] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [リストア] までスクロールして、[選択] を押します。
6. 確認ウィンドウで、[リストア] を押します。

第 5 章: トラブルシューティング

拡張モジュールの詳細を表示する

管理者メニューから拡張モジュールの詳細を表示する

前提条件

システム管理者からアクセスコードを入手して [管理者] メニューにアクセスします。

手順

1. 電話機の [メインメニュー] を押します。
2. [管理] までスクロールして、[選択] を押します。
3. システム管理者から入手したアクセスコードを入力します。
4. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [ボタンモジュール] までスクロールして、[選択] を押します。

電話機に、拡張モジュールの名前、ソフトウェアのバージョン、現在のステータスが表示されます。ステータスは [接続完了]、[無効]、[アップグレードしています] または 空になります。

メインメニューから拡張モジュールの詳細を表示する

手順

1. 電話機の [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [システム] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [ボタンモジュール] までスクロールして、[選択] を押します。

電話機に、拡張モジュールの名前、ソフトウェアのバージョン、現在のステータスが表示されます。ステータスは [接続完了]、[無効]、[アップグレードしています] または 空になります。

よくあるトラブルシューティングの状況

状況

次のいずれかの場合

- Avaya J100 拡張モジュール のディスプレイ画面が暗くなっている。
- 拡張モジュールのラインが表示されていない。
- Avaya J100 拡張モジュール で操作しても電話機で対応する内容が実行されない。
- 電話機で操作しても Avaya J100 拡張モジュール で対応する内容が実行されない。
- アップグレードまたはダウングレードが完了した後、Avaya J100 拡張モジュール への接続が失われる。

解決策

1. 電話機が電源に接続されているか確認します。
2. Avaya J100 拡張モジュール が電話機に正しく接続されており、接続ケーブルが破損していないことを確認します。
3. 電話機を再起動します。拡張モジュールが自動的に再起動します。
4. Avaya J100 拡張モジュール 接続ケーブルを抜いてから差します。

第 6 章: リソース

Avaya サポート Web サイトでドキュメントを検索

手順

1. <https://support.avaya.com> に進みます。
2. ログインするには、画面上部の [Sign In] をクリックし、プロンプトが表示されたらログイン資格情報を入力します。
3. [Product Support] > [Documents] をクリックします。
4. [Search Product] に製品名を入力し、対象製品を表示されたリストから選択します。
5. [Select Release] で、適切なリリース番号を選択します。
製品のリリースが 1 つしかない場合、このフィールドは使用できません。
6. (オプション) [キーワードを入力] に、検索するキーワードを入力します。
7. [Select Content Type] リストから、1 つ以上のコンテンツタイプを選択します。
例えば、ユーザーガイドのみを表示する場合は、[Select Content Type] リストで [User Guides] をクリックします。
8. 🔍 をクリックすると検索結果が表示されます。

Avaya ドキュメントセンターのナビゲーション

多数のプログラムでは、最新のカスタマー向けドキュメントを Avaya ドキュメントセンター Web サイト (<https://documentation.avaya.com>) から入手できます。一部の機能は、Avaya ドキュメントセンターにログインしている場合にのみ使用できます。使用可能な機能は役割によって異なります。

❗ 重要

探しているドキュメントが Avaya ドキュメントセンターで見つからない場合は、[Avaya サポート Web サイト](#)で見つけることができます。

ドキュメントセンター内を移動している間、画面上部の [Avaya ドキュメントセンター] のロゴをクリックすると、いつでもホームページに戻ることができます。Avaya ドキュメントセンターページで、次を実行できます。

- 上部メニューバーで [Avaya リンク] をクリックすると、Avaya サポート Web サイトなど、他の Avaya の Web サイトにアクセスできます。

- 上部メニューバーの [言語] (🌐) をクリックすると、表示言語を変更し、ローカライズされたドキュメントを表示できます。
- [ドキュメントを検索] フィールドで、キーワードで検索し [フィルタ] をクリックすると、ソリューションカテゴリ、製品、ユーザーの役割でフィルタできます。
各フィルタカテゴリで複数の項目を選択できます。例えば、製品と複数のユーザーの役割を選択できます。
- 上部メニューバーで [ライブラリ] をクリックすると、ドキュメントの完全なライブラリにアクセスできます。フィルタオプションを使用して結果を絞り込めます。
- 検索を実行したり、ライブラリにアクセスした後、検索結果ページでコンテンツを並べ替えることができます。表示する項目を見つけたら、クリックして開きます。
- ドキュメントの目次を使用して、移動できます。ドキュメントタイトルの横にある [<] または [>] をクリックして、前のトピックや次のトピックに移動することもできます。
- [共有] (➡) をクリックすると、電子メールでトピックを共有するか、URL をコピーできます。
- ドキュメントの現在のトピックの PDF、トピックとそのサブトピック、ドキュメント全体をダウンロードします。
- 表示しているセクションを印刷します。
- [コレクションに追加] (📁) をクリックしてコレクションにコンテンツを追加できます。トピックとそのサブトピックを追加したり、公開情報全体を追加したりできます。
- コレクションのトピックを表示します。コレクションにアクセスするには、上部メニューバーで自分の名前をクリックして [コレクション] をクリックします。
次を実行できます。
 - コレクションを作成、名前変更、削除する。
 - コレクションをデフォルトまたはお気に入りのコレクションとして設定する。
 - 選択したコンテンツの PDF をコレクションに保存し、コンピュータにダウンロードする。
 - 電子メールで他のユーザーとコレクションのコンテンツを共有する。
 - 他のユーザーと共有したコレクションを受信する。
- [ウォッチ] (👁️) をクリックして、トピックをウォッチリストに追加すると、コンテンツが更新または削除された場合に通知されます。
- ウォッチリストを表示および管理するには、上部メニューから [ウォッチリスト] をクリックします。
次を実行できます。
 - [電子メール通知] を有効にして電子メールアラートを受信する。
 - 選択したコンテンツまたはすべてのトピックのウォッチを解除する。
- トピックのフィードバックを送信します。

Avaya Mentor ビデオを表示する

Avaya Mentor Videos は、Avaya 製品のインストール、設定、およびトラブルシューティングの方法に関する技術的な内容を提供します。

このタスクについて

ビデオは、Avaya サポート Web サイトでビデオドキュメントタイプの下に表示される一覧から、および Avaya が運営する YouTube チャンネルで入手できます。

- Avaya サポート Web サイトでビデオを検索するには、<https://support.avaya.com/> にアクセスして、次の操作のいずれかを実行します。
 - [Search] に、「Avaya Mentor Videos」と入力し、[すべてクリア] をクリックし [Video] の [Select Content Type] を選択します。
 - [Search] で、製品名を入力します。[Search Results] ページで、[すべてクリア] をクリックし [Video] の [Select Content Type] を選択します。
- [Video] コンテンツタイプは、その製品でビデオが利用できる場合にのみ表示されません。

ページの右側のペインに、利用可能なビデオのリストが表示されます。

- Avaya Mentor ビデオを YouTube で検索するには、www.youtube.com/AvayaMentor にアクセスして、次の操作のいずれかを実行します。
 - [チャンネルを検索] にキーワード（複数可）を入力して、特定の製品やトピックを検索します。
 - [再生リスト] までスクロールし、トピックの名前をクリックすると、利用可能なビデオのリストが表示されます。（コンタクトセンターなど）。

* 注

ビデオはすべての製品に提供されているわけではありません。

サポート

最新のドキュメント、製品に関する通知、ナレッジ記事を入手するには、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) にアクセスしてください。リリースノート、ダウンロード、および問題の解決も検索できます。オンラインサービス要求システムを使用して、サービス要求を作成します。ライブエージェントとチャットをして問題の解決を入手するか、問題がさらに専門知識を必要とする場合はサポートチームに接続してもらうようにエージェントに要求します。

索引

A	コンテンツの検索 24
Avaya サポート Web サイト 26	
あ	さ
アイコン 10	サポート 26
アプリケーションの概要 13	し
アプリケーションにアクセスする 14	詳細
う	管理者メニュー 22
ウォッチリスト 24	メインメニュー 22
か	す
拡張モジュール	スクリーンセーバー画像 17
アイコン 10	せ
アップグレード通知 10	設定する
回線 10	カスタマイズキー 19, 20
概要 7	背景画像 16
管理者メニュー 22	表示設定
物理レイアウト 9	明るさ 18
メインメニュー 22	スクリーンセーバー画像 17
カスタマイズキー	表示モード 15
キーのラベルを変更する 19	た
キーを移動する 20	ダークモード
キーを削除する 20	設定する 15
キーを追加する 19	つ
き	通話操作
機能にアクセスする 13	通話中に別の通話に応答する 13
キーをデフォルトに戻す 20	通話に応答する 12
く	発信する 12
黒のフォント	通話中に別の通話に応答する 13
ディスプレイ 16	通話に応答する 12
こ	て
コレクション	ディスプレイのカスタマイズ
PDF の生成 24	概要 15
コンテンツの共有 24	電話表示
削除 24	変更する 16
編集 24	と
コンテンツ	ドキュメントセンター 24
PDF 出力の公開 24	コンテンツを見つける 24
アップデートの監視 24	ナビゲーション 24
共有する 24	ドキュメントセンターでコンテンツを見つける 24
検索中 24	ドキュメントの並べ替え 24
最終更新日で並べ替え 24	
コンテンツの共有 24	

ドキュメントの変更	6
ドキュメントポータル	24
トラブルシューティング 共通の手順	23

は

背景画像 JEM24 ディスプレイ	16
発信する	12

ひ

ビデオ	26
表示設定 テキストサイズを設定する	18
表示モード 設定する	15

ふ

物理レイアウト	9
---------------	-------------------

へ

変更する 電話表示	16
--------------------	--------------------

や

夜間モード 設定する	15 , 16
---------------------	---